

## 令和2年度 中国ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

### 1. 趣旨

内閣府、地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

### 2. テーマ

スポーツが変える。未来を創る。

～みんなで参加し、楽しみ、誰もが輝ける社会の実現を目指して～

スポーツは「世界共通言語」とも言われ、様々なバックグラウンドを持つ人々が交流できるツールであり、地域課題を解決する手段のひとつともなり得る。スポーツの力により戦後復興を遂げ平和発信を行ってきた広島の地から、お互いを尊重し平和を希求する社会の実現可能性を探る。

近年、在留外国人の数は増加傾向にあり、2020年6月末時点、全国で288万人、広島県では5万6,000人の方が生活している。少子高齢化を背景とする生産年齢人口の減少に伴い、外国人労働者の受入拡大を目的とする新たな在留資格が創設されるなど、在留外国人は今後もさらに増加していくことが見込まれる。そのような中、近年頻発している大規模災害や、世界規模で影響が続くコロナ禍などの状況下で、情報から取り残され、孤立したり不安を抱えたりしている在留外国人は少なくない。

このような外国人への支援について考えるにあたり参考にしたい団体が、広島に本拠地を置くプロ野球チーム「広島東洋カープ」である。カープ球団は、戦後間もなくの海外キャンプ遠征やアメリカ人監督の登用、ドミニカ共和国への野球学校の設立など、先進的に多様性を取り入れ、野球を通じた地域振興や国際貢献に取り組んでいる歴史がある。また、所属する外国人選手に対する手厚いケアを行っており、選手とその家族の生活支援を行う専属職員を配置し、異国で暮らす選手が安心して活躍できる環境を整えている。

日常生活においても、人種や国籍、文化や言葉などの違いを超え、誰もがその人らしく関わり、楽しみ、自らの持つ能力を發揮しながら輝ける社会を創り上げていくことは、SDGs(持続可能な開発目標)の示す理念にも重なり、私たちが目指すべき姿のひとつとして、その具体的な実現方法を検討する価値があるのではないだろうか。

第1部の基調講演では、広島東洋カープの通訳を務める西村公良氏より、外国人選手に対する支援などの具体的な内容をお話いただき、国際交流や多文化共生、外国人材支援における基本的な考え方を学んでいく。第2部では基調講演の内容を踏まえ、身近に暮らす外国人の抱える課題や悩みへの取組を考えるワークショップを行い具体的な実践内容を考えるとともに、今後各地域で行われる国際交流や多文化共生、外国人材支援活動等の参考にさせていただく。

### 3. 主催

内閣府

日本青年国際交流機構

一般財団法人 青少年国際交流推進センター

広島県青年国際交流機構

### 4. 後援

広島県

5. 主管

令和2年度「中国ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

6. 期日

令和3年1月16日（土）

7. 会場

オンライン（Zoom）＋中国4県サテライト会場

※在住県のサテライト会場へ来場、もしくは個別にオンラインで参加いただく形

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各会場とも通常定員数の半数以下を定員とする

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、すべてオンライン参加となる可能性あり

※広島市内での感染拡大を受け、広島会場は設置しない

○鳥取会場

会場名：米子市公会堂第5会議室

住 所：米子市角盤町2-61

T E L : 0859-22-3236

定 員：15名

○島根会場

会場名：ゲストハウスかたゑ庵

住 所：松江市美保関町片江396

T E L : 0852-55-8600

定 員：10名

○岡山会場

会場名：岡山国際交流センター会議室3

住 所：岡山市北区奉還町2丁目2番1号

T E L : 086-256-2905

定 員：10名

○山口会場

会場名：パルトピア山口（防長青年館）

住 所：山口県山口市神田町1-80

T E L : 083-923-6088

定 員：10名

○オンライン参加

ワークショップ定員45名程度 ※基調講演のみの参加は定員外で受付可能

8. 参加対象者

内閣府、地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者  
国際交流に関心のある青少年等

9. 問合せ先

中国ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長 向井 聖美

TEL 090-9416-8917

E-Mail [hiroshima.iyeo@gmail.com](mailto:hiroshima.iyeo@gmail.com)

## 10. 参加費

1,000円（基調講演のみ、ワークショップのみなど一部だけの参加も可能）

※内閣府国際交流事業に参加した方で、IYEO（日本青年国際交流機構）に平成29年度、30年度、令和元年度に入会金／事後活動研修費を納めた方は、ブロック大会及びの参加費が一回ずつ無料となります。申込フォームに「参加事業」及び「参加年度」の記載をお願いいたします。

## 11. 参加申込み

Peatix（イベント管理システム）により、氏名、住所、連絡先（メールアドレス、電話番号等）、参加方法（サテライト会場、もしくはオンライン）、及び所属IYEO名（IYEO会員のみ）を明記の上、令和3年1月6日（水）までにお申込みください。

（※参加費の決済をもって、申込み完了となります）

【申し込み先 URL】 <https://chuburo-hiroshima.peatix.com/>

## 12. 日程

1月15日（金）

15:00～16:00 国際交流事業関係者連絡会議（オンライン）

1月16日（土）

13:00～13:30 オンライン受付

### 【第1部】

13:30～13:45 開会式

13:45～14:00 アイスブレイク

14:05～15:10 基調講演「カープ通訳・西村さんに学ぶ多文化共生」

講師：株式会社広島東洋カープ 通訳 西村公良氏

### 【第2部】

15:20～16:40 ワークショップ

16:50～17:15 活動報告

17:15～17:30 閉会式

17:30～18:30 懇親会（自由参加）

（前半は、中国5県のPRタイム。後半はZOOMのブレイクアウトセッションを使用し、少人数で感想シェア・国際交流や地域活動等について情報交換）

## 13. 基調講演

テーマ：カープ通訳・西村さんに学ぶ多文化共生

内容：戦後の誕生から現在に至るまで広島市民に親しまれているプロ野球チーム「広島東洋カープ」は、戦後間もない頃から海外へのキャンプ遠征やアメリカ人監督の登用を行い、1990年にはドミニカ共和国に日本球界初となる野球学校を設立するなど、先進的に多様性を取り入れ、野球を通じた地域振興や国際貢献に取り組んでいる。また、所属選手のみならず、その家族の生活も含めて支援する専属職員を配置し手厚いケアを行うことで、異国で暮らす選手が安心して活躍できる環境を整えている。

球団通訳を務める西村公良氏より、外国人材支援に関するカープ球団の考え方や具体的な支援事例についてお話いただき、国際交流や多文化共生、外国人材支援についての基本的な考え方を学ぶ。

講師：株式会社広島東洋カープ・通訳 西村公良氏

講師経歴：広島県海田町出身。UCLA（University of California, Los Angeles）言語学専攻。2004年より株式会社広島東洋カープの外国人選手通訳として活躍。

通訳業務にとどまらず、練習のサポートや、選手・家族の日常生活のサポートにも携わる。2015年、セ・リーグ「スタッフアワード」受賞。

#### 14. ワークショップ

会場：上記7と同様

内容：困っている外国人に気軽に手を差し伸べられる市民が増えることは、すべての人にとって暮らしやすい社会づくりにつながるのではないだろうか。

各サテライト会場とオンライン参加者を組み合わせたグループに分かれ、高度外国人材や技能実習生、外国人留学生など、日本で生活する身近な外国人が直面している課題について共有し、基調講演の内容を踏まえながら、その解決や改善のために私たちが実践できる具体的な内容を検討するとともに、今後、国際交流活動を行っていく際のキーポイントや多文化共生について考える際の着眼点などのヒントとする。

#### 15. 実行委員会

	氏名	参加事業（参加年度）	居住地
実行委員長	向井 聖美	青年社会活動コアリーダー育成プログラム（2014年度）	広島市
副実行委員長	菊地 智美	日本・韓国青年親善交流事業（2011年度）	広島市
	渡邊 健也	東南アジア青年の船（2017年度）	広島市
実行委員	稲屋 三千男	世界青年の船（1972年度）	広島市
	中村 英稔	広島県 IYEO 賛助会員（1999年度）	広島市
	長末 辰也	世界青年の船（2000年度、2011年度）	東京都品川区
	佐藤 孝志	日本・韓国青年親善交流事業（2001年度）	広島市
	長峯 佐知子	広島県 IYEO 賛助会員（2001年度）	広島市
	清水 真寿夫	東南アジア青年の船（2002年度）	広島市
	永野 雄一	世界青年の船（2002年度）	広島市
	増田 寿子	世界青年の船（2003年度）	東京都台東区
	吉村 茂子	世界青年の船（2005年度、2011年度）	東京都墨田区
	兼友 昭典	東南アジア青年の船（2008年度）	広島市
	兼友 未央	世界青年の船（2008年度）	広島市
	河本 真代	青年社会活動コアリーダー育成プログラム（2012年度）	広島市
	小池 茉那	シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ（2014年度）	山梨県 富士河口湖町
	長谷川 貴映	東南アジア青年の船（2015年度）	東京都北区
	黒田 知幸	世界青年の船（2018年度）	東京都北区
	大森 悠真	東南アジア青年の船（2018年度）	埼玉県 さいたま市
古家 凌成	国際社会青年育成事業（2019年度）	神奈川県 綾瀬市	
横倉 萌子	IYEO 一般会員	大阪府大阪市	